

各 位

2023年4月3日

株式会社 山と溪谷社

<https://www.yamakei.co.jp/>

大人気の海獣学者、最新刊はめちゃくちゃ面白くて感動する動物の繁殖のはなし

インプレスグループで山岳・自然分野のメディア事業を手がける株式会社山と溪谷社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：二宮宏文）は、『クジラの歌を聴け 動物が生命をつなぐ驚異のしくみ』（田島木綿子／著）を刊行いたしました。



ザトウクジラは、なぜソングを歌うのか？

ヤギの交尾が一瞬で終わる切実な理由とは？

ヒトはもともと難産になりやすい？

求愛の悲喜こもごもから交尾の驚くべき工夫、妊娠・出産の不思議、環境に適応した多様な子育ての方法まで、あまり明るみに出ないけれど実はめちゃくちゃ面白い、繁殖・生殖のはなしを紹介しています。

海獣学者・獣医として海陸両方のさまざまな哺乳類に触れ、解剖学の知識をもつ著者ならではの経験と視点が満載。

読んだあと、生命の不思議と大切さを感じずにはいられない一冊。

イラストレーション／芦野公平、ブックデザイン／佐藤亜沙美

もくじ
はじめに

1章 クジラの歌を聴け 海の哺乳類の求愛戦略

インロ 愛を求めているわけじゃない
背じれの大きさこそ強さの証

シャチは背じれでセックスポール
海の哺乳類の背じれ、魚類の背じれ

24 22

ソングを奏でて振り向かせる

聴覚に目をつけたザトウクジラ
まだ見ぬ相手に出会うための歌

傷だらけのオスがモテる

アカボウクジラの傷は涙の勲章
求愛のための歯の機能を捨てたイッコク

ラッコの愛情表現が痛すぎる理由

オスがメスに噛みつく理由
コム 海底に出現するミステリーサークルの謎

56 52 48 44 32

3章 ヤギの交尾を見逃すな 海の哺乳類の繁殖戦略

インロ 限られたチャンスをもものにせよ
哺乳類最大の陰茎をもつセミクジラ

ヤギの交尾を見逃すな
天敵に襲われないための戦略

ウマのフレームン反応は興奮のしるし
ヤコフソン器官の役割

ロックオン型&らせん型の陰茎



120 118 128 132 136

一度とらえたら離さない形
メスに寄り添った優しい陰茎
陰茎内に骨があるセイウチ

トゲトゲで排卵を促すライオン
ネコ科の陰茎戦略

命をかけて縄張りを守る理由
メスの欲求に応えられないオスなんて

隠された睾丸のナゾ
睾丸「精虫」を体内に留めたワザラン

オスもメスもラクじゃない
コム オスがメスに同化する



160 152 144 140

ラッコの愛情表現が痛すぎる理由

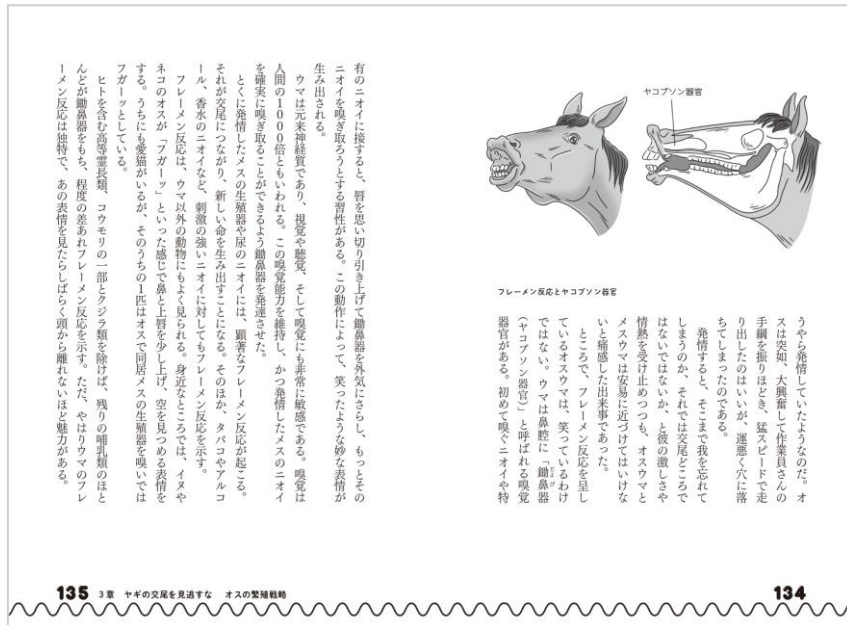
オスがメスに噛みつく理由

海の哺乳類の中で、食肉類イタチ科に属するラッコの恋は、オスがメスにちょっぴりを出さずとから始まる。普段、メスとオスは別々に行動しているが、メスが産卵するとオスの群れに飛び込んでいく。すると、産卵したメスを見つけたオスがそのメスに近寄り、鼻でついたりしてデートのお誘いさながらの行動を開始する。ラッコの場合、体の大きいオスがモテるとか、産卵を勝ち取ったオスだけがメスへの交尾権を獲得できるなどの壮絶な競争はないようだ。偶然出会い、繁殖タイムイングがあったオスとメスが求愛行動を開始するという、比較的平和な状況で事は進んでいく。



ラッコの交尾

光景で、「やっぱりラッコって可愛いな」と思う。ところが、このあとの展開が凄まじい。突然オスは体を反転させ、メスの背後に回ったかと思えば、後ろからメスの腰に噛みつく。そしてそのまま、交尾を行うのだ。なぜ、噛みつくのか。あんなに仲睦まじい関係に見えたのに……。オスがメスに噛みつく一番の理由は、交尾のときの体勢を安定させるためと考えられている。ラッコの交尾は不安定な海上で行われるため、オスはメスの動きをコントロールして確実に交尾を遂行しないのだ。また、交尾中であっても、オスも



●内容

1章 クジラの歌を聴け ～海の哺乳類の求愛戦略

[イントロ] 愛を求めているわけじゃない
背ビレの大きさこそ強さの証
ソングを奏でて振り向かせる
傷だらけのオスがモテる
求愛のため歯の機能を捨てたイッカク
ラッコの愛情表現が痛すぎる理由
[コラム] 海底に出現するミステリーサークルの謎

2章 ゴリラの背中を見よ～陸の哺乳類の求愛戦略

[イントロ] 命のために、命をかける
銀色に光る背中では成熟のしるし
強いオランウータンは顔がでかい
バビルサの歯は伸び続ける
大きく立派な角と求愛の代償
鼻が大きいほどモテるテングザル
マンドリルのアピールは派手な顔
[コラム] ハンディキャップがモテにつながる

3章 ヤギの交尾を見逃すな～オスの繁殖戦略

[イントロ] 限られたチャンスをもものにせよ
哺乳類最大の陰茎をもつセミクジラ
ヤギの交尾を見逃すな
ウマのフレーメン反応は興奮のしるし
ロックオン型&らせん型の陰茎
陰茎内に骨があるセイウチ
トゲトゲで排卵を促すライオン

隠された睾丸のナゾ

[コラム]オスがメスに同化する

4章 イルカは逆子で産みたい～メスの繁殖戦略

[イントロ]胎盤という、温かな戦略

最も単純な子宮をもつ者

大きく育てて1頭を産むウマ

一度にたくさん産むウサギ

人間はなぜ難産になりやすいのか？

イルカは逆子で産みたい

哺乳類なのに卵を産むカモノハシ

[コラム]オスとメスの性別を決める2つの要因

5章 子ゾウは、笑う ～子どもの生存戦略

[イントロ]生きろ！ 生きろ！ 生きろ！

子ゾウは、笑う

子どもを抱いて授乳するジュゴン

クジラの舌に見られるフリンジ

乳首を咥えたら離さないカンガルー

アザラシの母乳でキリンは育たない

徹底的に隠れる子どもたち

赤ちゃんの可愛さには理由がある

●著者略歴

田島木綿子（たじま・ゆうこ）

国立科学博物館動物研究部脊椎動物研究グループ研究主幹。筑波大学大学院生命環境科学研究科准教授。博士（獣医学）。1971年生まれ。日本獣医生命科学大学（旧日本獣医畜産大学）獣医学科卒業。学部時代にカナダのバンクーバーで出会った野生のオルカ（シャチ）に魅了され、海の哺乳類の研究者として生きていくと心に決める。東京大学大学院農学生命科学研究科にて博士号取得後、同研究科の特定研究員を経て、2005年からアメリカの Marine Mammal Commission の招聘研究員としてテキサス大学医学部と The Marine Mammal Center に在籍。2006年に国立科学博物館動物研究部支援研究員を経て、現職。海の哺乳類のストランディング個体の解剖調査や博物館の標本化作業で日本中を飛び回っている。獣医学の知見を活かし、海と陸の哺乳類の繁殖戦略についても詳しい。著書に『海獣学者、クジラを解剖する。』（山と溪谷社）ほか。

●書誌データ

書名：『クジラの歌を聴け 動物が生命をつなぐ驚異のしくみ』

著者：田島木綿子

発売日：2023年4月3日

定価：1760円（本体1600円＋税10%）

272ページ／46判／1色刷

<https://www.yamakei.co.jp/products/2822063290.html>

【山と溪谷社】 <https://www.yamakei.co.jp/>

1930年創業。月刊誌『山と溪谷』を中心に、国内外で山岳・自然科学・アウトドア等の分野で出版活動を展開。さらに、自然、環境、ライフスタイル、健康の分野で多くの出版物を展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社山と溪谷社 担当：綿
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-105 神保町三井ビルディング
TEL03-6744-1900 E-mail: info@yamakei.co.jp
<https://www.yamakei.co.jp/>